

2010年度 第2回 理事・企画委員会

日時：平成22年5月29日 14:30～17:00

会場：神戸女子大学 教育センター 演習室

出席者：赤松、宮尾、木暮、大森、岡田、川野、渋谷、大門、丁井、長谷川、古川、伊藤、松沼

委任状：安藤、篠原、田中、萩原、大杉、棚橋、山田

報告(担当:事務局)

- ・会員動向の報告があった：正62・学16・賛助4 総数82名
- ・シンポジウム「モバイル10」の会計報告があった：売上損益 ¥97,884
- ・ヒューマンインタフェース学会よりシンポジウム2010協賛依頼があり、承諾済みと報告があった

議題1. 新・理事長について

田村理事の辞任届が受理された。

新・会長に赤松理事、副会長に宮尾理事・木暮理事が選任された。(任期:2011年度末)

議題2. 学会の所在地について

今回の総会で「兵庫県神戸市」と変更することを諮ることが承認された。尚、定款表記は「兵庫県神戸市」、登記は「神戸女子大学」とする。

議題3. 事務局の所在地および業務分担について

事務局は、現状のまま「神戸女子大学」に置くことが承認された。その他の事務局として、以下の2つを設置することが承認された。

- ・アクティブ事務局：担当 宮尾理事、木暮理事 広報業務を担当
- ・シンポジウム「モバイル'11」事務局：担当 古川理事 シンポジウム「モバイル'11」業務を担当(会計は神戸、印刷は名大、編集作業はつくばが担当とする)

議題4. 会員拡大案について

まずは、正会員100名、賛助会員10件を目標にすることとなった。

会員のメリットを明確にした具体的な事案は以下のとおり。

- ・学会誌の発行
- ・メール配信システムとメーリングリストの活用(学会活動の広報/他学会からの広報も転送)*
- ・マスコミ会員を設置(年会費は無料、こちらから広報を発信。共同の講習会・研究会も視野に)
- ・賛助会員Bを設置(シンポジウム・研究会に5名招待、学会誌1部:100,000円)
- ・賛助会員A(シンポジウムに2名招待、学会誌1部)、学生会員(学会誌ナシ)とする
- ・入会案内のリーフレットをWebからDLできるようにPDFで作成*
- ・技術講習会を企画
- ・表彰事業を实地:『研究奨励賞』

1シンポジウムで3～5人を懇親会で表彰する

座長からアンケートを基に大会長が選出 対象は1st.が40歳未満の会員の論文

議題5. モバイル学会誌について (担当:大門理事)

アナウンスと申込について

大門理事より別紙に基づき説明があった。内容が検討され、修正箇所は以下のとおり。また、「モバイル11」用、ML用などの作成の必要が指摘された。

- ・案内文とシンポ申込書:「査読付論文」を明記する
- ・案内文:著作権の箇所に「会員向けにWeb公開する」を追記

掲載料金について

- ・過去に採録が決定している論文については掲載料を徴収しないとすることが承認された。
- ・新規申込からは、論文1編につき30,000円とすることが承認された。

印刷は名古屋大学 大学生協に依頼予定となった(見積:別紙のとおり)

また、学会誌のWeb閲覧に関する作業は木暮理事・渋谷理事が担当となった。

議題6. シンポジウム「モバイル11」について ⇒別紙参照(担当:古川理事)

別紙が古川理事から提案され、検討された。決定事項および修正箇所は、以下のとおり。

- ・テーマは1案の「安心なモバイル社会づくりへ」が採用された
- ・特別講演は、研究者／企業人を織り交ぜ、提案の方向で3本程度を予定する
- ・発表数や会場の確認を行った
- ・参加費を含め予算とスケジュールが承認された
- ・原稿締切を2011年1月5日に変更した
- ・筑波大学への共催願の提出が承認された
- ・広告は1件60,000円とする、A4の印刷物を用意してもらい、綴じ込むスタイルとする
- ・展示は無料で行う。会場はギャラリーを予定。

また、学会HPのリニューアル後に、神戸事務局より協賛依頼を行うこととなった。

同時に、学生会員の扱いについて議論となり、入会時に卒業見込年度を申告してもらい、卒業年度に個別にメールで退会／継続の意向を聞くこととなった。

議題7. 第10回モバイル研究会について

次回は木暮理事が担当することとなった。

2010年9月に東京(青山学院大学)で開催の予定。

その他

- ・木暮理事を中心に、古川理事と事務局でメールアドレスの整備をして、MLで報告する。
- ・次回の理事会で、企画委員の選出を行いたいので、案を出していただく。

議事録署名人の選任(2名):大森理事・渋谷理事

第3回理事・企画委員会は2010年9月を予定しております

(以上)

2010年5月29日

議事録署名人：渋谷 雄 印

議事録署名人：大森 正子 印